



# はいまつ

学校便り No. 1

令和5年4月14日発行  
弟子屈町立川湯小学校



## 「新しいスタートを迎えて～「かしこさ」とは～ 校長 上中 義人

川湯小学校の令和5年度が、4月7日の始業式・入学式を皮切りにスタートしました。今年度は、児童35名・教職員14名での船出となります。

まずは保護者の皆様におかれましては、これまでもあらゆる面でご理解・ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

学校といたしましては、今年1年間、子どもたちのために全職員の力を結集し、誠心誠意取り組んでまいりますので、これまで同様よろしくお願いいたします。

さて、本校の教育目標はご案内の通り、『児童の創造性を開発し、自己を変革していける子どもを育てる』です。それを受けて、児童のめあてとして以下の4つを掲げています。それは、「あかるく」「かしこく」「なかよく」「たくましく」です。すでに子どもたちは、この4つのめあてを概ね達成しているかと思いますが、今年度はさらに「かしこく」に力点を当てて教育活動を実施していく予定です。

「かしこさ」については、漢字が書けたり計算が正確で速い、たくさんの事を覚えている等と言った、技能的な面が強調されることが多いのですが、物事の機転が利いたり、相手の心情を思いやる言葉がけや態度ができることも「かしこさ」の側面であると言えます。

パナソニックの創設者である、松下幸之助は、日本の発明王としても知られています。時代的な背景も影響したのですが、彼はご存じの通り、中学校へも行かず

独学で勉強し自らの才能を磨き上げました。そして最終的には、日本経済の中心人物へと登りつめたのです。

そんな彼の言葉に、こういうものがあります。「とにかく、考えてみることである。工夫してみることである。そしてやってみることである。失敗すればやり直せばいい。」

教育の現場では、「失敗」という言葉に敏感で、子どもが失敗しないことこそが大切だと考えがちです。取り返しのつかない失敗は論外ですが、私は子どもたちに、大いに失敗をして欲しいと思っています。そして、その失敗の中からこそ、新たな道を見つけ出す力がついてくるものだからです。

「かしこい」人になるためには、基礎的な学力は絶対必要ですが、それと同時にたくさんの失敗経験から得られた知識（体験）こそが、「かしこさ」を磨く手段であると考えています。

私は子どもたち全員に、松下幸之助のようになりなさいとは言いません。しかし、将来社会へ巣立っていく上で、是非「かしこく」なってもらいたいと思っています。

「かしこい」子は勉強も頑張り、体も使います。そして何より、周りの人間への気遣い（やさしさ）も持ち合わせているものです。学年により成長の段階こそ違いますが、今年1年、保護者や地域の皆様に支えていただきながら、川湯小学校がより「かしこい」学校となるよう粉骨砕身努力していくつもりです。是非今年度も引き続き、ご指導・ご鞭撻・ご協力をよろしくお願いいたします。

6日(木)	新5・6年生前日登校(入学式準備)
7日(金)	着任式 始業式 入学式 午前授業
10日(月)	バス乗車指導 1年生下校指導(～14日) 給食開始(2～6年生)
11日(火)	登校時安全指導
12日(水)	PTA三役会議⑤
13日(木)	図書館バス ALT
14日(金)	1 迎会実行委員会① 身体測定
18日(月)	午前授業 個人面談① 全国学力・学習状況調査(6年生)
19日(水)	午前授業 個人面談②
20日(木)	交通安全教室 個人面談③ ALT
21日(金)	1 迎会実行委員会②
22日(土)	全校参観日 PTA 総会 全体懇談会 学級懇談会
24日(月)	振替休業日
25日(火)	学校生活アンケート 歯科検診 ALT
27日(木)	1 迎会実行委員会 ALT 図書館バス
28日(金)	1年生を迎える会 児童委員会
29日(土)	昭和の日

## 「新学期以降のマスクの着用の考え方」

4月1日以降、学校においては、児童生徒及び教職員に対し、マスクの着用を求めないことが基本となりました。マスクの着脱については、それぞれの主体的な選択を尊重し、個人の判断となりました。

# 令和5年度 川湯小入学式

4月7日(金)、3名の1年生が入学しました。元気の良い挨拶と笑顔がとても印象的で、学校の雰囲気がとても明るくなりました。国語や算数などの学習のほかにも給食や身体測定など、学校での生活について、少しずつ学んでいます。

早く小学校の生活に慣れて、勉強や運動に元気いっぱいがんばってほしいと思います。



高学年がお世話



緊張しながらもしっかりお話を聞く1年生



児童代表から歓迎の言葉



担任の先生と並んで退場



新しい教室でお話を聞く1年生  
小学校生活がスタート

## 始業式 新たな気持ちで新学期がスタート

3名の1年生を迎えて、全校児童 35 名により令和5年度の川湯小学校がスタートしました。それぞれ1つ学年が上がり、これからの1年間をどのような年にしようか、目標を立てて希望に胸を膨らませていることと思います。校長先生から、新学期にあたって児童に講話をしてくださいました。真剣な表情で瞳を輝かせながらしっかりと聞いている姿は大変立派でした。一つ学年が上がり、お兄さんお姉さんになったという気持ちに溢れていました。これから始まる学習や生活とみんなの成長が今からとても楽しみです！

よろしくお願いします



## 着任者のご挨拶

このたび着任しました教頭の [ ] と申します。牛がいっぱいいる標茶町からきました。弟子屈町は、今も煙を噴き出し活動している硫黄山や釧路川の水源である屈斜路湖、和琴半島など自然豊かでたくさんの観光資源があるすてきな町だと感じています。恵まれた環境の中で育っている川湯小学校の児童のために、微力ながら力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

教頭 [ ]

この度、美留和小学校から参りました、 [ ] です。全校7名の学校から異動してきたので、川湯小は児童数が多いなあと感じている毎日です。

1日も早く全校児童の顔と名前を覚えたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

教諭 [ ]

釧路市立中央小学校からきました [ ] です。再任用教諭4年目です。趣味はスポーツ(アイスホッケーとジョギング)です。

川湯は、とてもすてきな場所で感動の毎日です。聞いたことのない鳥の声、雪の残った山々、芽吹き始めた草木、すべてが新鮮で癒やされます。

このすばらしい自然環境の中で、子どもたちと楽しく勉強したり、生活したりできることを幸せに思います。今年1年『ふるさと川湯』をこよなく愛する子どもを育てるために精一杯つとめます。どうぞよろしくお願いいたします。

教諭 [ ]

この度、弟子屈町立川湯小学校で皆さんと一緒に勉強するために大阪府で刃物の生産や自転車の生産で有名な堺市から来ました川端浩徳です。

私自身は北海道の生活はもちろんのこと小学校教員一年目です。北海道川湯温泉の魅力を発見しつつ、楽しい学校生活ができたらいいと考えています。そのために私は、皆さんとともに勉強や遊びを行います。子どもの教育は、保護者の皆様のご協力が無いと成り立たないものと考えています。お子様の言動などで気になるようなことがございましたら、ご意見や感想などをお寄せください。どうかよろしくお願いいたします。

教諭 [ ]

和琴小学校から異動して参りました、 [ ] です。弟子屈町内の小学校は、川湯小学校で3校目です。今までの勤務校と比べると子どもたちの人数が3~4倍になるので、子どもたちの顔と名前を早く覚えられるかな、というドキドキと、よく遊びに来ていた大好きな川湯で働けるというワクワクでいっぱいです。これからどうぞ、よろしくお願いいたします。

事務主任 [ ]